



二十六聖人

令和 4 年 3 月号

(令和 4 年 2 月 27 日発行)

教会だより

2022. 3 No. 345

カトリック二俣川教会 TEL 045-391-6296

<http://www.futamatagawa-cc.com/>

主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

ミサパスポート？

誰もが経験したこともない、新型コロナウイルス感染症の中での過ごしも三年目になりました。一昨年始まったこの病気は、今もその勢いを落とそうとはせず、わたしたちの日々を不安と心配で満たしているようです。人が集まることが難しくなる状況で、人の流れも問題とされて、それから、社会の様子もずいぶん変わり、いわゆる「自宅勤務」や「オンライン授業」などが勧められたりしました。それは勿論、この病気と戦うためのことですが、一方、すべての集いや自然な流れが「不要不急のようなもの」のように扱われてしまう恐れも感じます。そして、ワクチンの接種や検査の必要性が、まるで「パスポート」のようなものとなり、これが社会の不信と葛藤を深めるかもしれないという心配もあります。このように考えたら、この病気の終息はそういう不信と葛藤などが無くなってからではないかという思いがします。

最近、わたしは風邪を引いて、夜通しとても辛かったです。幸いに、薬を飲んで治りましたが、念のために、信者さんから頂いた「新型コロナウイルス検査キット」を用いて検査してみました。結果は陰性。一時的な風邪だと思ったけれども、もしかして陽性だったらどうするかという心配がありましたので、本当にほっとしました。それは勿論、これからもミサを続けることができるからでしょう。そのハプニングがあったのち、わたしは「この感染症がただ、体の病気だけではなく、心の病となるかもしれない。」ということ、一層深く考えることになりました。そして、ミサの司式者としての自分の役割を続けるために、自分の体の調子をしっかりとチェックすることを知っていながら、自分の魂の状態についてはどうチェックしているのかということが気になりました。

昔から度々聞いているある質問があります。それは「いったい、ご聖体をいただくためには、ミサの中のいつ頃まで来なければならないですか。」という質問です。信者の皆さんはどう思われますか。この質問を受ける度に、わたしは「どうしてこのような質問が生じるのか。」という思いがして、とてももどかしい気持ちになります。実は、祭壇の上でミサを捧げ

ていると、ミサの時間がずいぶん過ぎてからいらっしゃる方々や、ミサの前にいらっしゃったのに、ミサが始まってから聖堂に入られる信者さんがよく見えます。その姿を見つめながらわたしも同じこと、つまり「あの方々にもご聖体を授けるべきか。」を考えている自分を見つけたりします。でも、その方が拝領するために手を出したら、司祭はそれを拒むことができません。もしかすると、気の強い司祭だったらそれができるかもしれませんが、わたしにとってはしにくいことです。

とにかく、「いったいミサの中のいつ頃までに来たら、ご聖体をいただくに適うでしょうか。」結論から話すと、正解は決まっていません。教会法にも司祭は「ミサの中、また、ミサの外で」、聖体拝領を求める人にそれを拒んではならないという風に書いてあります。けれども、度々、ミサに遅れて来られる方、しかも、常習的に(?) そのようにする方を見つめると、聖体拝領のための最低で適当な時間を決めておきたいという誘惑に陥ります。実は、ミサはいくつかの部分で成っていますが、ミサ自体はただ一つの祈り、或いは、儀式として理解しなければなりません。ですから、もし聖体拝領のための最低で適当な時間について問われたら、「それはミサの最初からです。」と答えるしかありません。そうすると、ミサの最初はいつだろうと問われるかもしれません。それは勿論、ミサを始める時間ですが、それについて「ミサの式次第文」には次のように書いてあります。「会衆が集まると入祭の歌を歌う。その間に、司祭は奉仕者とともに祭壇へ行く。」と。つまり、会衆がまだ集まっていないと司祭は入堂できない、すなわち、ミサを始めてはいけないということです。そこで、ミサ時間ということを決めて、その時間までにはぜひ集まるように、とするのです。このように考えたら、ミサの途中で教会に入って、聖体拝領のために手を出すのは、とても誠意がないこととなるのが分かります。

さて、今わたしたちはいつでもどこに行っても、先ず検温とかアルコール消毒を行い、周りの人との距離もきちんと守っています。そういうチェックはもう当たり前のこととして認識されていて、これはこの感染症の終息まで続けられるはずです。それは、まるで、必須条件のようなことで、それに従わなければ、建物に入ることも、他の人と交わることも大変難しくなっているのです。それにワクチンの証明書とか、検査の証明書などが加わるかもしれません。とにかく、面倒なことですが、様々な場面で自らの体調をチェックしなければなりません。それでは、ミサのため、ご聖体の拝領のためには、どれほど自分の魂や心をチェックしているでしょうか。体温を測るように魂や心の状況を測ることが言葉のように簡単ではないはずですが。しかし、一週間の自らの思い、言葉、行いと、それに傷ついた人々の気持ち、また、それらのことがどういう実を結んだのかを、ミサの前静かに顧みるのは、体の調子を調べることより、もっ

と重要なことに違いありません。確かにミサは入祭の歌から始まると記されていますが、ミサに与る魂と心を整えることから始まるのだと言っても、それは全然おかしくないと思います。

もう四旬節が始まりましたが、イエス様の受難に共にあずかることを願いながら、ミサに対する思いを顧み、新たにするのはいかがでしょうか。主任司祭 ヤコブ 姜 真求



2 月教会委員会報告

【司祭】

神様の子供として想い、話し、行動する事だと思います。例えば数学者は数字で、物理学者は物理で世界を説明します。神様の子供だったら神様の言葉で、想いで、行いで世の中を変える使命が与えられています。その認識を持って役割を果たして欲しいと思います。

※神父様のシノドスに関するお話は、6 ページに掲載しています。

【今月の検討項目】

1. 信徒集会に関して

- ・開催日時： 2 月 27 日（日） 13 : 00-14 : 00
- ・出席者： 40 名を予定
(教会委員、地区世話人連絡室、地区世話人、信徒（希望者募集）10 名)

2. シノドス（世界代表司教会議）質問回答の進め方

「テーマ「ともに歩む教会のためー交わり、参加、そして宣教」

- ・第三地区宣教司牧委員会より、シノドスに関する質問票が 2 月 3 日（木）に届きました。
提出期限：4 月 5 日 具体的活動方法は早急に検討し案内しますので協力をお願いします。
下記 URL にて「シノドス」を知る事が出来ますので事前に確認をお願いします。

<https://www.cbcj.catholic.jp/2021/11/08/23317/>

3. その他

◇四旬節（3 月 2 日）以降のミサスケジュールを郵送にて信徒の皆様ご案内します。

◇駐車スペースの運用方法を変更します。

- ・主日ミサ時にマリア像側に 4 台分駐車を可能にします。但し、マリア像側は「駐車許可証」が発行されている車両に限定されます。

◇信徒提案に関して

- ・ステンドグラス基金を創設して、教会にステンドグラスを設置する提案がありました。
* 消防法問題・価格などの資料を揃えて再提案致します。

【各委員会報告】

(典礼委員会)

- ・四旬節ミサ時間：灰の水曜日 3 月 2 日（水）10 時
* ミサに与れない方で「灰のしるし」を希望される方は神父様にご相談下さい。
- ・黙想会はありません。
- ・聖木曜日/聖金曜日：19 時・・・地区別ではなく参加は自由です。
- ・復活徹夜祭（土）：19 時
- ・復活の主日（日）：9 時、11 時・・・復活祭の土・日は地区別ミサとなります。
- ・聖歌隊は 4 名で継続致しますが、マスク着用にて声を抑え気味にします。

(教会学校)

- ・「教会学校と青年と共に捧げるミサ」は 2 月 20 日（日）に変更。2 月 27 日（日）が信徒集会の為。

(キリスト教講座委員会)

- ・ 今後の予定： 3月 6日(日) 合同入信志願式(於：藤沢教会)
4月 16日(土) 復活徹夜祭にて洗礼式・堅信式
5月 22日(日) 新信徒の集い
11月 27日(日) 入門式
- ・ 受洗者のフォローアップは「入門講座」の一環として新信徒の集いとフォローアップ(3回)を予定します。
- ・ 次回からの黙想会は、「キリスト教講座委員会」にて担当致します。
(マリア会)
- ・ 例年1月末に実施している「マリア会総会」は中止としました。
皆様からのご意見、ご希望等を頂くために「マリア会ポスト」を設置致しました。
(青年会)
- ・ 1月30日(日) 新成人のお祝いを「教会学校と青年会と共に捧げるミサ」の中にて行いました。対象は2021/2022年の新成人で16名に声掛けを行い1名の方に参加頂けました。
- ・ 青年会定例会開催日を、第四日曜日「教会学校と青年と共に捧げるミサ」後に集会室で行うように変更しました。*オンライン参加も可能です。
(インターファミリーグループ)
- ・ 2月20日(日) 12:00~13:00でインターファミリーミーティングを予定します。
(第三地区委員会)
- ・ 1月30日(日) 第三地区共同宣教司牧委員会(於：戸部教会)は感染症拡大の為、中止となりました。4月は磯子教会、7月は二俣川教会で開催の予定です。
- ・ 3月21日(月：祝)に、アウグスティヌス 水上健次助祭(山手教会出身)が司祭叙階されます。

福祉委員会からの報告

昨年12月22日に、年末福祉献金として、7団体に合計62万円をお送りしました。献金先は、ラルシュかなの家、ワンデーポート、横浜ダルク、横浜マック、エンコムヨコハマ、日本カトリック信徒宣教師会、わたぼうし(子供の貧困)支援 です。みなさん、温かいクリスマス献金ありがとうございました!

今回は、日本に移住してきた人々とその家族の支援を行っている ENCOM YOKOHAMA (横浜教区難民移住移動者委員会) からのお手紙を紹介します。(一部抜粋)

† 主の平和

ENCOM YOKOHAMA の活動にいつもご協力をいただき、まことにありがとうございます。このたびはご芳志をお送りいただき、厚く御礼申し上げます。

それだけでなく弱い立場にある日本の難民移住移動者のおかれている境遇は、とりわけコロナ禍の影響で経済活動が大きく停滞する中で一段と厳しさを増していて、支援の必要性が増しています。ご芳志を大切にに使わせていただきます。

これからも、各種相談、コミュニティづくりのほかに、東日本・横浜・品川の各入国管理センター訪問、各種講演会開催等を積極的に行っていきたいと考えています。

神様の祝福と豊かな恵みが皆様の上にありますようお祈りいたします。

2021年12月吉日

ENCOM YOKOHAMA 代表 F. D. S.

～シノドスって？そして、シノドスへ向けての歩み～



フランシスコ教皇様は 2023 年秋に世界代表司教会議（シノドス）を開催することを決定され、そのテーマを、『ともに歩む教会のため－交わり、参加、そして宣教－』とされました。

そして今回のシノドス＝（「ともに歩む」という意味のギリシア語）に向けては、まさにその言葉が意味する「ともに歩む」というプロセスを具体的に生きる存在となることを望まれています。これは、まったく新しいシノドスのあり方です。

つまり、今回のシノドスが遠くローマで 2023 年 10 月に開催される代表司教たちによる会議だけに終わるのでなく、世界中のすべての教区が、ともに『識別』の時を過ごし、神の民を構成するすべての人が、その歩みに加わるように！と呼びかけられているのです。

今回のシノドスへのプロセスは既に、昨年 10 月 10 日の教皇ミサをもって始められています。2023 年のシノドスでは「提言」がまとめられ、その提言をふまえて、教皇様は「使徒的勧告」を発表されます。その使徒的勧告が発表されたとき、私たち一人ひとり、そして教会共同体が多くの霊的共感をもってそれを受け止め、ともに歩み続けられることが最も意味深いことでしょう。

二俣川教会独自の準備として、姜神父様が毎月の教会委員会で全世界のカトリック信者に投げかけられた「シノドスの準備のための 10 の質問」をもとにお話しくださることになりました。それをまとめたものを、教会委員たちが共有し、「二十六聖人」でも連載していきます。コロナ禍にあって今は集まることが難しいですが、ピンチをチャンスに、知恵を出し合い、様々な方法を用いてみてください。個人でも黙想していただきたいと思います。

一つの答えを出すことが目的ではありません。霊的な問いかけを自分自身の深いところに投げかけ、また仲間と分かち合うことに大きな意味があります。

私たち二俣川教会も、『シノドスの精神を知り、育み、実践する共同体』を目指して、まずはその準備を共にして参りましょう！

教会委員会

～シノドスへの準備のための 10 の質問より～

第 1 回

① 「旅の同伴者」

皆さんの教会で「わたしたちの教会」というとき誰がその仲間でしょうか。逆に、どういう人、またはグループが、教会の周縁部に取り残されているでしょうか。

（姜神父様のコメント）

この質問は、私たちが「わたしたちの教会」という時、実際に誰が仲間で、誰が中心部で動いているのか。逆に中心部とその仲間達の動きによって、取り残される人がいますか？という意味です。みんなの教会では、疎外される人がいてはいけませんよという事が、この質問の底にあるポイントです。それぞれの会において、他の委員会・団体との協力関係や意見交換ができますか？という意味もあります。委員会や団体の仕事は大事ですが、それが教会の全てではない事を受け止め、考える必要があります。メンバーたちだけ、またはメンバーの中でも仲の良いメンバーだけなど、限られた人のみでの意見交換は望ましくないということです。

② 「聴くこと」

教会内部で、また教会外の人々と、わたしたちの教会は、それぞれ誰に対して「耳を傾ける」必要があるでしょうか。何が、耳を傾ける助けと妨げとなるでしょう。

（姜神父様のコメント）

「聞く」ではなく、「聴く」ことです。耳を傾ける事が教会においては大事な事です。話す力がある人、聴く力がある人がいますが、そのバランスは難しいです。本当に耳を傾けるために役に立つ方法は何か、それを妨げるものは何かを自ら考えてみてくださいという問いかけです。意見交換や分かち合いの場で誰が主導的に発言しているか、発言に違和感を覚える事がないかも含め、分かち合う必要があります。大切なことは、神様の子供として想い、話し、行動する事だと思います。例えば数学者は数字で、物理学者は物理で世界を説明します。神様の子供だったら神様の言葉で、想いで、行いで世の中を変える使命が与えられています。その認識を持って役割を果たして欲しいと思います。



姜神父様お誕生日おめでとうございます！

1月25日、姜神父様は54回目のお誕生日を迎えられました。一番近い主日、1月23日の11時ミサの終わりに、教会からの花束を贈呈し、お祝い致しました。

今年も地区ごとのミサの中でお祝いすることとなってしまいましたが、元氣にお誕生日を迎えられたことを神様に感謝いたします。共に歩む心とともに、姜神父様の益々のご活躍とご健康を皆でお祈り致しましょう！

教会委員会



新成人をお祝いしました

1月30日(日)14:00～の『教会学校と青年と共に捧げるミサ』の中で新成人のお祝いをしました。当日ミサに参加できた青年は1名でしたが、立派に成長したかっこいい姿を見せてくれました。当日参加できなかった青年からは、将来の夢やお世話になった共同体の皆様への感謝のメッセージが寄せられ、あたたかい新成人のお祝いとなりました。



＜参加出来なかった青年からのメッセージ＞

「昨年成人を迎えました、M. K. です。今は大学の商学部で、経済や経営について勉強しています。最近就職を考えて語学の勉強に力を入れています。本日も語学試験と重なってしまい、新成人のお祝いに参加できず直接お礼を申し上げることができませんでしたが、日頃から教会の皆さまのお祈りと支えを頂いていることに感謝しています。コロナ禍により不安な日々が続いていますが皆さまの健康が守られますようお祈りしています。」
アシジのフランシスコ M. K.

「仕事で本日参加出来なく残念です。私はコロナの関係でCAになる夢を諦めてコストコで働いています。これから人生まだまだあるので、今までにない経験をしていけたらいいです。」 M. P. B.

昨年はコロナの影響で残念ながらお祝いが出来なかった為、21年、22年に成人を迎えた青年16名の名前を紹介させていただきます。

《2021年度 新成人》

ルドビコ・茨木 T. S.
シイナ I. S.
ジャスティン・パオロ I. K.
シエナのカテリーナ K. M.
ミカエラ K. K.
アシジのフランシスコ M. K.
アシジのフランシスコ O. Y.
チェチリア M. A.

《2022年度 新成人》

マリア M. R.
ガブリエル T. R.
ヨハネ I. R.
マイケル S. N.
M. P. B.
ルカ M. N.
マリア・クララ・フランシスカ K. M.
ペトロ O. K.



ぜひ同じ地区の方や見かけられた方はお祝いの言葉をかけて頂ければと思います！
夢と希望を持って歩む青年たちの姿が教会の光となり、また、教会が青年たちの支え、拠り所であり続けますように。

青年会 Y. M.



寒い日が続きます。お変わりありませんか？先日広報から、マリア会通信への嬉しい投書のことをお聞きしました。マリア会通信は、お知らせする内容または、報告がある時のみに掲載しています。2号続けてマリア会通信を掲載した時に、マリア会通信を読むとホッとするのでお知らせの無い時も掲載してくださいというものでした。思った以上に長引いているコロナ禍にあって、マリア会のメンバーに必ず届くマリア会通信の有効性を軽視していたことを多いに反省し、今後はお知らせのない時も、ほっこりするお役立ち情報をお伝えしていくことにしました。今回はその1回目、クックパッドに掲載されていて、作ってみたらすごく簡単で美味しい、ミアーさんの「くるみゆべし」を基に工夫を交えて紹介いたします。

<下ごしらえ>

1. クルミを袋の上から指で軽く押しつぶして細かくし、フライパンで軽く色付き香りが出るまで弱火で炒める。
2. バットや皿に片栗粉をひきつけておく。

作り方

1. ガラスボウルなどの耐熱容器に白玉粉、黒砂糖、醤油、ぬるま湯を入れ、しっかり混ぜ合わせる。
2. ラップをしてレンジで2分加熱した後、ムラがなくなるまでよく混ぜる。
3. 炒めておいたクルミときな粉を2に入れ、混ぜたら再びレンジで2分。(少し色が濃く茶色になる。)
4. 水分が多いととろとろでない生地を良く混ぜ、片栗粉を敷いたバットや皿に出し、1分置いて冷ます。火傷に気を付けて裏返す。
5. 片栗粉のついた面を指で伸ばしたら、冷めるまでそのまま置き、好きな大きさに切る。切断した面にも片栗粉をつける。

火傷には気を付けてね！
冷めた後で伸ばして切ってもいいよ！

きな粉もくるみが苦手な人は、省いても大丈夫!!!

<材料>

白玉粉 100g	クルミ 40g
ぬるま湯 150g	きな粉 大さじ2
黒砂糖(粉) 70g	片栗粉 適量
醤油 大さじ 半分	

100gのダマシで売っているクルミ(48g入り)、白玉、もち粉(200g)、北海道きな粉(160g)を1パックで安く買えます。

ラップで包んで、保存容器に入れれば1~2日は食べられます。できるだけお早目にどうぞ！

片栗粉をオブラートパウダー(製菓材料店などにあります)に変えると、売り物と変わらない出来になります。

マリアです。
これから
よろしく
お願い
します！
食べる
大スキ！

出来たての
ゆべし
最高ですよ！

マリア会 K. M.

【編集後記】春が近くまでやって来ていますね。梅林などへ出かけ花見をされた方も多いかと思われま。今月から復活祭へ向けての四旬節が始まります。新コロナでのソーシャルディスタンスや三密防止などで沈みがちな気持ちを反省し、希望あふれる日々へと変え、復活祭を迎えたいと思います。(S. W. 記)